

【今号の1枚】

JICAは2021年2月10日に(株)読売巨人軍と共同で、フィリピン・ミンダナオ島の青少年約300名を対象としたオンライン野球教室を開催し、その中で手洗いを含む感染症対策の啓発活動を行いました。

同国では、学校の授業はすべてオンライン等で行われるなど、親子ともにストレスが大きい状況にあると報道されています。本イベントでは、心身の健康に役立つエクササイズや野球の練習方法を紹介したり、質問会を通して参加した青少年を勇気づけるとともに、JICAフィリピン事務所のナショナルスタッフから感染症対策を呼びかけました。ナショナルスタッフ自身が出演する手洗い方法の動画を再生したり、「正しい手洗い漫画」をプリントしたハンカチを紹介(今後配布予定)するなど、工夫を凝らしました。

引き続き、皆様からの手洗い啓発活動の写真を大募集いたします！

(写真提供：東南アジア・大洋州部)



JICAフィリピン事務所で作成した正しい手洗い漫画を印刷したハンカチ(左)と、事務所ナショナルスタッフのみなさん



日本式の手洗い・うがいを広くエジプトの子ども達に

新設の「エジプト・日本学校」が全国に43校開いているエジプト。子ども達の主体性、協調性、社会性、規律等の醸成を目的に、日本式の学級会や手洗い指導・掃除等が導入されているのが大きな特徴です。

2020年11月にJICAエジプト事務所がNGOに業務委託し開始した「Value in Life Activitiesを通じた新型コロナウイルス予防啓発活動」プログラムは、上記のような日本では当たり前のコンセプトを、広く一般のエジプトの子ども達にエジプト人が教えていくプログラム。エジプト国内の「ユースセンター(若者の文化的・身体的成長を目的としたプログラムを実施する多目的センター)」に集まる青年100人が啓発活動の担い手となり、各地の小学校・保育園の子ども達に日本式の手洗い・うがいを広め、コロナ感染予防につなげていきます。プログラムは2021年8月まで。直接の対象となるのは約1,500人の子ども達ですが、TVのCMやポスター、SNSなどの広報キャンペーンで、広くこのコンセプトをエジプト国民に周知していきます。現在採用が進む青年100人のリーダーとしての成長も楽しみます。



特活の導入には協力隊も貢献しています



エジプト・日本学校では手洗いは当たり前



各地のユースセンターで説明会を実施中



青年リーダーの採用も進んでいます

(エジプト事務所 佐藤宏美)

モンゴル国「障害児のための教育改善プロジェクトフェーズ2」では、障害のある子どもも、ない子どもも、ともに学べる教育の実現に向けて、取り組んでいます。

モンゴルでは、新型コロナウイルス感染者が国内で確認される前から休校措置を取るなど、早くから感染予防対策に取り組んできました。2021年2月現在も累計感染者数は3,000人以下に抑えられています。長期間にわたり、子どもたちはモンゴル教育科学省が複数のテレビ局を通じて放映するテレビ授業を視聴しながら学習しており、2021年3月から対面授業が再開される予定です。

このような状況を踏まえ、プロジェクトでは新型コロナウイルス感染予防のために、井上きみどりさんの「正しい手洗い漫画」をもとにしたアニメーション動画と、感染予防の留意事項をまとめたポスターを制作しました。



学校と家庭で感染予防のために気を付けたいことをまとめたポスター



障害があったり学習や行動に課題のある子どもたちの感染予防の工夫をまとめたポスター



アニメーション動画「みんな一緒に手を洗おう」。車いすに乗った子どもを登場させる、手話通訳をつけるなど工夫をしています。また、手洗い方法についてもモンゴルの状況に合わせた内容にしています。

制作にあたっては、障害のある子どもたちにも分かりやすいよう工夫しています。見えないお子さんが音声だけでも理解できるように注意し、聞こえないお子さんのためにセリフを文字で示したり、手話通訳をつけたりしました。また、理解が難しいお子さんにも分かりやすいように、手洗い場面はステップごとに映像化しています。本動画は、モンゴル教育科学省や関係機関のホームページに掲載されたほか、地方のテレビ局でも放送されています。ポスターはSNS等を通じてオンラインで配布し、コロナ禍で外出が難しい状況でも誰もが入手しやすいようにしています。

YouTube 「みんな一緒に手を洗おう」

- <https://youtu.be/Yzbcy4cncwM>
- <https://youtu.be/ZSRbEPdCa7Q> (手話付きバージョン)

3月上旬からの対面授業再開に向けて、JICA はその取り組みを支援するため、モンゴル全国の約2,000の公立幼稚園・学校及び寮に対し、消毒液と噴霧器を供与する予定です。

これからも、モンゴルの子どもたちの健やかな学びのために、モンゴルの皆さんとともに取り組んでいきます。

< 細かなところでもモンゴル仕様になっています >



食事の中身



男の子の服装、動物（牛から馬）



第4回目は株式会社アースアンドヒューマンコーポレーションさんを紹介します。

(株)アースアンドヒューマンコーポレーション (EHC)

◎団体概要

フランス語圏西アフリカ地域を中心に、「地域住民の視点」を大切にしながら水、環境、コミュニティ開発、教育、保健など、ソフト系の分野で開発コンサルティングを行っています。未来の子どもたちが心も自然も豊かな地球で暮らせる世界の実現に向けて、人々が社会の改善に取り組むゆとりある生活環境づくりを目指します。

事業分野：水と衛生、環境・気候変動、貧困削減、教育、保健・医療、農業・農村開発

◎手洗い運動

JICA事業を通じた衛生啓発活動

受注したJICA事業の活動を通じた手洗い啓発に取り組んでいます。ブルキナファソでは、手洗い啓発を含む地域住民の衛生啓発活動に取り組みました。また、セネガルのコミュニティ健康保険制度強化プロジェクトでは、対象州の保健区と協力して、手洗いはじめとしたCOVID-19感染予防についてコミュニティラジオ放送を通じて呼びかけました。セネガルの農業・栄養情報収集調査では、人口保健調査(DHS)のデータから手洗い場や石鹸の有無など、家庭の手洗い状況を調べ、取りまとめました。

EHCが受注した、手洗い促進に取組む主なJICA事業：

ブルキナファソ：村落給水施設管理・衛生改善プロジェクト（フェーズ1&2）、セネガル：コミュニティ健康保険制度及び無料医療制度能力強化プロジェクト、エチオピア：水技術機構（EWTI）研修運営管理能力強化プロジェクト



カウンターパート機関の手洗い促進活動を後押し

エチオピアでは、JICA事業のカウンターパート機関（EWTI）による手洗い促進事業をバックアップしています。公共の場に設置するフットペダル式手洗いユニットの製作、医療機関等のための手指消毒液の製造・配布のほか、LIXIL社と協力し、同社の手洗いソリューション（SATO Tap）の無償配布に取り組んでいます。

◎Webサイト

<https://sites.google.com/a/ehcip.com/ehciphome/>

◎連絡先

〒194-0041
東京都町田市玉川学園8-3-23
電話042-710-7661 Fax042-710-7665
E-mail ehcjapan@ehcjp.com

◆JICA 健康と命のための手洗い運動「手洗い運動進捗状況と会員団体様ご紹介 セミナー」を開催しました◆

2021年2月19日にJICA健康と命のための手洗い運動プラットフォームの「手洗い運動進捗状況と会員団体様ご紹介 セミナー」を開催しました。第1回となる今回のセミナーでは、約100名に及ぶ多くの方々にご参加いただきました。

セミナーでは、大阪大学人間科学研究科、杉田映理准教授による基調講演をはじめとして、プラットフォーム会員団体様による手洗い活動の取り組みをご発表いただきました。ご発表いただきました皆様、重ねて御礼申し上げます。本セミナーの様子については、次号のニュースレターで紹介させていただきます。

今後も、本プラットフォームでは、定期的にセミナーを開催したいと考えています。セミナーで取り上げてほしい議題等がございましたら、お気軽に手洗い運動事務局へご連絡ください。

ありがとう
ございました！



by INOUE Kimidori

本ニュースレターに掲載・共有したい記事・写真・情報等を随時募集しています！

①配信/配信停止の希望、②記事掲載の希望、③本メールマガジンの表示不具合などのほか、ご不明な点やご要望、ご感想がございましたら、下記の編集・配信担当支援スタッフまでご連絡ください。



地球環境部 JICA 健康と命のための手洗い運動事務局

Web サイト <https://www.jica.go.jp/activities/issues/water/handwashing/index.html>

Handwashing@jica.go.jp

